

総合的な学習の時間 学習指導案形式例【R8】 (群馬県教育委員会)

総合的な学習の時間 学習指導案

単元名「○○○○○○○○○○(案)」

【探究課題：○○○○○○○○○○○○】

令和○年○月○日(○) 第○校時 ○○○○教室
○○立○○学校 ○年○組 ○名 指導者 ○○ ○○

I 単元の構想

1 単元の目標及び児童(生徒)の実態

単元の目標	<文型・文末例> (ア)を通して、(イ)を理解し、(ウ)について考えるとともに、(エ)できるようにする。		
	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
児童(生徒)の実態	単元の目標の(イ)に対応する児童生徒の状況	単元の目標の(ウ)に対応する児童生徒の状況	単元の目標の(エ)に対応する児童生徒の状況

2 評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①		①	①
②			
③		③	③
		④	

<文末例>
知・技、思・判・表「～している。」
主体態「～しようとしている。」

3 指導及び評価の計画(全○時間：本時第○時) ※別紙参照

4 探究課題の価値

--

【単元名】

- 単元名は、活動を進める中で児童生徒が設定していくこととなるため、本時が単元名を設定する以前の授業である場合、授業者の考える単元名に(案)を付けて記述する。
- 探究課題については、全体計画に示しているものを転記する。

【児童(生徒)の実態】

- 本単元の目標に関わる実態を簡潔に記述する。
- 「～ができない。」といった否定的な記述のみは避け、児童生徒の実態を肯定的に捉え、「～については理解している。」のように、プラス面を記述する。

【評価規準】

- 「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」(国立教育政策研究所)を参考にし、作成をする。
 - 全体計画に示している育成を目指す資質・能力を基に
 - 「知識・技能」については、3項目
 - ①概念的な知識の獲得
 - ②自在に活用することが可能な技能の獲得
 - ③探究的な学習のよさの理解
 - 「思考・判断・表現」については4項目
 - ①課題の設定
 - ②情報の収集
 - ③整理・分析
 - ④まとめ・表現
 - 「主体的に学習に取り組む態度」については3項目
 - ①自己理解・他者理解
 - ②主体性・協働性
 - ③将来展望・社会参画
- 探究の過程そのものであり必須
- の中から、単元の目標に対応する形で、本単元で評価するものを記載する。○の数字は、3観点それぞれ別紙の単元計画の数字とそろえる。

【単元の目標】

- 長期間の単元を通して、各校の全体計画(※)に10項目で示している資質・能力の育成を目指すことから、総括的に一文でまとめて記述する。その際、以下の4つの要素を構造的に配列する。
- (ア) 中心となる学習対象や学習活動
- (イ) 重視する「知識及び技能」
- (ウ) 重視する「思考力、判断力、表現力等」
- (エ) 重視する「学びに向かう力、人間性等」

※全体計画の作成については、「今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開」(文部科学省) 小学校編P61～P77 中学校編P67～P85 を参照

【指導の計画】

- 総合的な学習の時間は、探究の過程が繰り返される長期間の単元となることから、指導の計画については別紙で示す。
- ※各学校で既に作成してある指導計画がある場合は、新たに本形式で作成する必要はなく、それを別紙として添付してもよい。

【探究課題の価値】

- 設定した探究課題について、児童生徒の資質・能力の育成とのつながりから、その特性や魅力、必要性等を記述する。その際、以下の内容を具体的に記述する。
- (例) 児童生徒の関心や疑問、地域や学校の特色、各教科等との関連、教師の思いや願い、社会の要請等の教育的な価値、獲得を想定する概念的な知識等

<別紙>
3 指導及び評価の計画 (全〇時間：本時第〇時)

時	学習活動	知	思	態
つかむ	〇～〇 探究課題と出会い、単元の課題を把握する。 〇〇時間 【探究課題と出会う】 (i)			①
	〇～〇 【単元の課題を把握する】 (a) (ii)	①	①	
	〇～〇 単元の課題 ※探究課題との出会いから導き出された単元を通して探究する内容 【追究の見通しをもつ】 単元名 ○○○○○○○○○○ ※単元の課題をキャッチフレーズ化したもの			②
追究する①	〇～〇 単元の課題に基づき、各グループで課題を設定し、追究する。 〇〇時間 【課題の設定】 (b)		①	
	〇～〇 【情報の収集】		②	
	〇～〇 【整理・分析】 (i)	②	③	②
	〇～〇 【まとめ・表現】 (ii)		④	
追究する②	〇～〇 新たな課題を見だし、継続して追究する。 〇〇時間 【課題の設定】 (c) (i)		①	②
	〇～〇 【情報の収集】 (a)	②	②	
	〇～〇 【整理・分析】 (a)		③	
まとめる	〇～〇 【まとめ・表現】 (a) (a)		④	③
	〇～〇 単元全体の学習の振り返りをする。 〇〇時間	③		

【「つかむ」過程】
 ・単元の課題には、児童生徒が話し合っ設定するゴールイメージを記述する。
 ・単元名は、単元の課題をキャッチフレーズ化したものを示す。
 例) 単元の課題：防災MAPをつくって地域に配ろう
 単元名：〇〇市の防災リーダーになろう！

・活動のまとまりごとに時数を分けて表す。

【「追究する」過程】
 ・①課題の設定 ②情報の収集 ③整理・分析 ④まとめ・表現 といった探究の過程を踏まえた構成となるよう記述する。
 ・探究の過程は、常に①～④が順序よく繰り返されるわけではなく、順番が前後したり、一つの活動の中に複数の過程が一体化して同時に行われたりする場合もある。
 ※各過程の指導のポイントについては「今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開」(文部科学省) 小学校編・中学校編ともにP24を参照。

【「まとめる」過程】
 ・単元の振り返りを通して、児童生徒が考える視点(自己の成長や学びの価値、これからの生き方等)を明確にして記述する。

【学習活動】
 ・児童生徒の思いや意識を想定し、児童生徒が自ら探究を進めるイメージを持って記述する。
 ※児童生徒の活動は授業者の想定通りにはならない場合もあるため、単元計画の作成時には柔軟に修正していけるよう、大まかな学習活動を記述する。

【評価の計画】
 ・単元の評価規準に照らし、各単位時間の評価の観点を、絞り込んで位置付ける。
 ・1枚目の「2 評価規準」を基に、3観点10項目全てを単元全体で評価できるように、バランスよく記述する。
 (一部を概要で示したり、小単元で計画を示したりする場合にはこの限りでない)
 ・評価の表し方や考え方、観点の位置付けについては「群馬県教育委員会『指導と評価の一体化の充実に関する資料』(各課発行・提供資料 義務教育課)」を参考にし、工夫して示す。

【活用するコンテンツ等】
 ・参観者が後に参考とできるように、学習で使用するWebのURL情報などを、(英小文字)の後に記述する。
 例：(a) <http://www.nc.gunma>~~~~~ 等

【関わる外部人材等】
 ・活用する地域人材や専門家等、民間企業や団体名等を、(小ローマ数字)の後に記述する。
 例：(i)〇〇公民館 (ii)●●市××課職員

*活用するコンテンツ等：(a) (b) (c)
 *関わる外部人材等：(i) (ii) (iii)